

保護者各位

名古屋市立名東高等学校長
久木田 隆宏

南海トラフ地震に関連する情報の発表および非常災害の発生に関する対応について

向暑の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご協力いただき感謝いたしております。

さて、東日本大震災をふまえ防災計画の見直しを行い、今年度も引き続き検討を重ねてきました。南海トラフ地震に備えた対応について、以下のように取りきめておりますので、保護者の方々のご理解をよろしくお願いいたします。

災害時は、携帯電話がつながりにくくなるおそれがあります。災害用伝言ダイヤルの利用など、連絡を取り合う方法を、日頃からご家庭でお話し合いくださるようお願いいたします。

また、学校の対応については、学校ホームページでお知らせするほか、「きずなネット学校連絡網」にてお知らせいたします。なお、「きずなネット学校連絡網」は、年度当初に登録のご案内をいたしました、生徒の安全に関する事柄についてお知らせする電子メールのシステムです。

なお、愛知県防災安全局で作成されている「防災・減災お役立ちガイド（地震編）」がございしますので、ご参考までにお役立てください。<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/bosai/oyakudatigaidoijisinnhenn.html>

記

1. 南海トラフ地震に関連する情報が発表された場合の対応

①在校中

- 情報が発表されたことを、すみやかに生徒に伝えます。その際情報を適切に伝え、不必要な不安をもたせないようにします。同時に、上記の方法で保護者のみなさまに情報をお伝えします。
- すぐに被害の発生が想定される等、状況によっては、生徒を安全な場所に誘導し、帰路の安全が確保できたことを確認した後に下校させます。安全に帰宅できない生徒は、校内に待機させ、安全が確認できるまでの間は学校で保護します。

②登下校中

- 登校途中の場合は、原則としてそのまま登校します。登校中は在校中の指導に準じます。
- 下校途中の場合は、そのまま下校し下記③に準じます。

③在宅時

- 情報が発表されたことを知った場合は、避難場所・避難経路の確認、家族との安否確認手段の取り決め等、日ごろからの地震への備えを再確認します。特に学校から連絡がない限り、授業が行われますので、通常通り登校してください。

2. 大規模地震（震度5強以上）が発生した場合の対応

①在校中

- 授業をはじめとするすべての教育活動を打ち切り、帰宅方法の安全を確認した上で帰宅させます。
- 安全に帰宅できない生徒は、校内に待機させ、安全が確認できるまでの間は学校で保護します。

②登下校中

- 登校途中の場合は、その場から速やかに帰宅します。
- 下校途中の場合は、そのまま下校し下記③に準じます。

③在宅時

- 自宅で待機します。学校から連絡があるまでの間は臨時休業とします。

3. 津波発生に伴って津波警報が発令された場合の対応

- 自宅付近の地域に出された避難指示・情報にしたがって行動してください。